

# かけはし

一小だより

No. 4 25・7・24

## 子どもの感性にふれて

校長 大村 亨夫

「新校舎が建つとハッピーゆり園はなくなるんですか？」掃除の時間に6年生の女子が話しかけてきました。心配の理由は「学校で一番好きな場所がなくなると寂しいから。」  
<幸せなゆりなんだなあ>としみじみ思いました。

今年のゆりは成長がおもわしくなく、例年行っていた「ゆりの幸せ♥配達人」をするかどうか悩みました。実施の決断をしたのは、「やる。やりたい!」という6年生の思いを知ったこと。それと、不足分をどんでん平ゆり園のお力で補える見通しがたったからです。

子ども達は、配達先を決め、手紙を添えたゆりの花束を届けました。届けた先で見た笑顔や「ありがとう」の言葉に感激していました。さわやかな気持ちになったという子もいました。幸せを配達したつもりの子も達が、むしろ幸せをいただいたようです。失礼とは存じますが、紙面にて協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

「自信が育つ、ゆりの里の学び舎」を掲げる私達は、ゆりが咲いている間ゆりを題材とした表現活動をしています。先生方は、子ども達の発見を大切に17文字の俳句・川柳を指導してくれました。その後、飯豊めざみ川柳会長の手塚白峰先生から優秀作品の選考結果と講評をいただきました。

最優秀は、2年生男子

おはようと いったるみたい ゆりの花

評 「ゆりの花は陽気な花です。花のすがた、色合い、花の形など、人の心におはようと呼びかけるような雰囲気をかもしだします。2年生にしては、発想と表現がすばらしい秀句です。」

詩でも作文でも絵でも、作品から作者の驚きや感動がずっと伝わってくることや、自分とは違う子どもの新鮮な感性に触れる時があります。教員をしている喜びのひとつに、そんな出会いがあります。

例えば最近。第42回山形県小中高等学校児童生徒作曲コンクールの作詞部門で選ばれた本校児童の作品。(小学生での入選は、この2作品だけでした。)

3年 男子

「へびさん ぐにゆぐにゆ」

1 へびさん ぐにゆぐにゆ

たんぼで ぐにゆぐにゆ いねを くぐって  
ヒルを よけて 石をこえて ぐにゆぐにゆ

2 へびさん ぐにゆぐにゆ

たびして ぐにゆぐにゆ 川を およいで  
道をわたって すばやくにげて ぐにゆぐにゆ

6年 男子 「未来への道」

1 空を見て 明日を思った

どこまでも 風が吹く 道を歩きたい  
未来に向かう 明るい道を

2 夕日を見て 未来を思った

どこまでも 夢がある 道を歩きたい  
未来に向かう たしかな道を

この作品にまだ見ぬ県内の誰かが、曲をつけてくれるはず。若い感性同士の出会いが楽しみです。

さて、1学期が終わりました。夏休みです。

「散文的な純情派は山に向かい、詩的なロマン派は海を好む」そうです。(町長の見て歩き48より)

それぞれの夏の日が、素敵な思い出になりますように。



# 学校のまど ~子ども達のがんばり~

自信を持たせる活動



7月1日(月) ゆり園演奏

来園者にトランペット鼓隊演奏の演奏と行進をプレゼント。喜んでいただきました。

友達と関わり合う活動



7月4日(木) ふれあい集会

生活委員会の企画で、全校生がゲームなどを通して楽しい時間を過ごし、絆を深めました。

ふるさとを大事にする心の育成



7月5日(金) 七夕読み聞かせ

ほほえみ活動では、母親委員の方々が星に関わる本を読み聞かせし、七夕を楽しめました。

メディアセーブの取り組み



7月6日(土) 授業参観・学級懇談会

全学年でメディアセーブの授業と学年懇談会を通し、学年で守らせる約束を決めて取り組みます。

地域と関わり貢献する活動



7月12日(金) ゆりの幸せ♥配達人

育てたゆりに感謝をこめて地域の方へ。「ありがとう」の一言にうれしさがこみ上げます。

走力を高める活動



550コースを走る(1学期)

自分の目標をしっかりと立てて、すでに約90名が42.195Kmを走破。これは昨年の6倍の人

## 8月の予定

- 3(土) ほほえみ かじかとり
- 17(土) ほほえみ かかしまつり
- 19(月) 2学期始業式 いのちの日
- 20(火) PTA 三役会

- 22(木) 校内水泳大会・記録会  
1~6年 10:00 開会式  
PTA 整美部会
- 24(土) (飯豊中運動会)
- 27(火) PTA 理事会
- ☆7/6 授業参観・懇談会・ソフトバレーボール大会 ご参加ありがとうございました。